

Contents

監修のことば	3
推薦のことば GP(一般歯科医)がなぜ矯正治療を学ぶのか?	4
プロローグ これから矯正を勉強する皆さんへ	11

第1章 目からウロコの「矯正の基礎知識」

1. 矯正の診断に必要な基礎知識「10項目」	14
基礎知識1 臼歯関係について	15
基礎知識2 臼歯はどこまで遠心移動できるのか?	17
基礎知識3 なぜバイトが深いのか? なぜバイトが浅いのか?	19
基礎知識4 「Scissors effect」とは?	22
基礎知識5 「ANB角」について	23
基礎知識6 「FMA」について	23
基礎知識7 大臼歯の「近遠心移動」と「垂直変化」	24
基礎知識8 歯列弓は何歳まで大きくなるのか?	26
基礎知識9 「Eスペース」について	28
基礎知識10 「上顎骨」と「下顎骨」の成長時期について	30
2. 歯の移動についての基礎知識	33
1 「傾斜移動」と「歯体移動」について / 2 「歯の移動様式」について	
3 各部位の「歯の移動様式」	
3. 混合歯列期にやっておくべきこと	37
1 「開咬」の改善 / 2 「反対咬合」の改善 / 3 「交叉咬合」の改善	
4 「上下顎歯槽基底の前後的位置関係(ANB角)」の改善 / 5 「臼歯関係」の改善	
4. 二期治療(マルチブラケット治療)をいつ始めるか?	42
1 「上顎前突」の二期治療はいつ始めるべきか?	
2 「下顎前突」の二期治療はいつ始めるべきか?	

+αを知っておこう!

+α₀₁	「犬歯関係について」	44
+α₀₂	「アンドリュースの「Six keys to normal occlusion」 — 正常咬合のための6つの鍵 —	45
+α₀₃	「5番の関係」で1歯対2歯の臼歯関係をチェックしよう!	46
+α₀₄	歯列拡大について	47

第2章 目からウロコの「セファロ分析」

1. なぜ「セファロ」が必要か？	54
1 セファログラムの使用方法／ 2 セファロトレースがうまくなるコツ	
2. 正しいセファログラムの撮影法	58
3. 7つの計測点を確実にとらえよう！	59
1 S点 / セラ：トルコ鞍の中心／ 2 N点 / ナジオン：前頭鼻骨縫合の最前点	
3 Or / オルビターレ：眼窩下縁の最下点／ 4 Po / ポリオン：外耳道上縁	
5 A点：上顎歯槽基底の前方限界点／ 6 B点：下顎歯槽湾曲部の最深点	
7 Me / メントン：下顎結合部の最下点	
4. 9つの計測項目を知ろう！	66
1 9つの計測項目／ 2 計測項目をセファログラムのトレース上に記入しよう	
5. 上下顎歯槽基底の前後関係を表す「ANB角」	68
1 「ANB角」とは？／ 2 「ANB角」と「臼歯関係」	
6. 上顎，下顎の歯槽基底の前後的位置を表す「SNA角」「SNB角」	70
1 「SNA角」「SNB角」とは？	
7. 下顎骨の開き具合を表す「FMA」	71
1 「FMA」とは？／ 2 「FMA」と下顎骨の成長方向	
3 ローアングル，ハイアングルと「FMA」／ 4 過蓋咬合，開咬と「FMA」	
8. 各種水平平面について	77
9. 「咬合平面の傾き」について	78
1 下顎の成長状態と「咬合平面の傾き」	
2 「咬合平面の傾き」が変わると「臼歯関係」が変わる？	
3 「咬合平面の傾きの変化」による「臼歯関係」の改善	
10. 「ANB角」「SNA角」「SNB角」「FH to SN」の年齢的变化	82
11. 上下歯軸のなす角度「Interincisal angle」	83
12. 前後的顎間関係と前歯の位置を「シェブロン」で表そう！	84
1 上下前歯の前後の位置を表すU1 to NA(mm)，L1 to NB(mm)	
2 上下前歯の軸傾斜を表すU1 to NA(°)，L1 to NB(°)	
13. 「理想のシェブロン」について	85
14. 「各ANB角に適した前歯の位置」とは？	86
15. 「プロフィログラム」で不正咬合の構造を視覚化しよう！	88
1 「プロフィログラム」とは？／ 2 「S原点法」と「N原点法」	
3 プロフィログラムの作成法	
16. セファログラムの「重ね合わせ」	92
1 「全体の重ね合わせ」／ 2 「上顎，下顎の重ね合わせ」	

+ α を知っておこう!

α_{01}	その他の「知っておくとよい点」も覚えておこう!	93
α_{02}	眼窩と下顎下縁はなぜ二重に見えるのだろうか?	97
α_{03}	「SNA角」「SNB角」が信頼できる値か? を考えよう!	98
α_{04}	「ANB角」が信頼できる値なのか? を考えよう!	100

第3章 目からウロコの「矯正診断」

1. 診断に必要な資料一式とそのポイント	108
1 資料採得	
2. 「叢生」についての基礎知識	111
1 「叢生」がある歯列をきれいに排列すると、何が起こるのか?	
2 「叢生量」の算出方法	
3. 「スピーカーブ」についての基礎知識	112
1 「スピーカーブ」を平坦化すると、歯列には何が起こるのか?	
2 「スピーカーブを平坦化するために必要なスペース」の算出方法	
4. 「歯列のスペース」と「前歯の前後的位置」の関係	113
5. 下顎前歯のボーダーライン「L1 to NB 10 mm」	114
6. 「Box score」の使用法	115
1 「Box score」とは? / 2 「Box score」の記入法	
7. 「抜歯」以外で下顎にスペースを作り出す方法	121
1 スペースの検討 / 2 抜歯以外で歯列にスペースを作り出す方法	
8. 「ANBチェンジ」について	123
1 「ANB角」を変化させるさまざまな要因	
2 「ANB角」はどれくらい変化させられるのか?	
9. 矯正診断の進め方	125
1 症例の「問題点」の抽出 / 2 治療ゴールをイメージし、治療目標を立てる	
3 「Box score」を用い、治療目標が達成可能かを検討する	
10. 上下顎前歯の著しい唇側傾斜を伴う、アングルⅠ級ハイアングル症例	128
1 症例の「問題点」の抽出 / 2 治療ゴールをイメージし、治療目標を立てる	
3 「Box score」を用い、治療目標が達成可能かを検討する / 4 実際の治療	
11. 「アンカレッジロス」についての基礎知識	137
1 「アンカレッジロス」とは? / 2 アンカレッジを補強してくれる助っ人たち	
3 「アンカレッジロス量」をミリ数で把握しよう!	
4 「Ⅰ級 $\frac{4}{4}$ 抜歯治療」の臼歯の動きを理解しよう!	

12. 「治療前の臼歯関係」と「臼歯の仕上げ」について	143
1 患者さんに合った治療法の選択 / 2 「臼歯関係」と「臼歯の仕上げ」	
13. 著しいオーバージェットを有する骨格性II級, アングルII級上顎前突症例	145
1 症例の「問題点」の抽出 / 2 治療ゴールをイメージし, 治療目標を立てる	
3 「Box score」を用い, 治療目標が達成可能かを検討する / 4 実際の治療	
14. 「Eライン」について	153
15. プロファイルを考える際には「鼻の高さ」も考慮しよう!	154
16. Bolton分析について	157
1 上下前歯の歯冠幅径のバランス / 2 症例1: 上顎正中離開症例①	
3 症例2: 上顎正中離開症例②	

+αを知っておこう!

+α 01	「II級 $\frac{4}{5}$ $\frac{4}{5}$ 抜歯治療」の臼歯の動きを理解しよう!	161
+α 02	「成長期の顎顔面の成長」と「パーティカルコントロール」について	162
+α 03	「顔貌と正中の一致」の鍵を握る「上顎第一大臼歯」の位置	163

第4章 「マルチブラケット治療」の実際

1. マルチブラケット治療の基礎	166
1 マルチブラケットシステムとは? / 2 「マルチブラケットによる抜歯治療」のたまかな流れ	
2. 歯を近遠心的に動かす方法	169
1 「スライディングメカニクス」と「ループメカニクス」	
3. ブラケットの「遊び」について	170
4. I級 $\frac{4}{4}$ $\frac{4}{4}$ 抜歯症例のマルチブラケット治療	171
1 診断 / 2 I級「上下顎第一小臼歯抜歯症例」のStep By Step / 3 治療結果の考察	
5. II級 $\frac{4}{5}$ $\frac{4}{5}$ 抜歯症例のマルチブラケット治療	183
1 診断 / 2 ブラケットの選択, ポジショニング	
3 II級「上顎第一小臼歯 / 下顎第二小臼歯」抜歯症例のStep By Step / 4 治療結果の考察	
6. 「II級仕上げ症例」のマルチブラケット治療	196
1 診断 / 2 治療 / 3 治療結果の考察	
7. 「III級症例」のマルチブラケット治療	199
1 III級マルチブラケット治療のメカニクス / 2 III級症例の診断	
3 III級非抜歯治療の Step by Step / 4 治療結果の考察	
8. 保定～長期保定症例から見てくるもの～	205
1 症例1 (治療後20年経過症例) / 2 症例2 (治療後25年経過症例)	

+αを知っておこう!

+α₀₁	「コンペンセーティングカーブ」を使いこなそう!	211
+α₀₂	「リバースカーブ」を使いこなそう!	213
+α₀₃	前歯トルクの調整法	215

第5章 「矯正学的知識」を「補綴治療」に活かそう!

1. 補綴に先立って必要とされる「矯正治療」	218
2. 咬合の鍵を握る「犬歯関係Ⅰ級」	221
1 歯科医師の誰もが知っている「咬合崩壊のストーリー」／ 2 臼歯を守るための「臼歯離開咬合」	
3 「臼歯離開咬合」を実現するための「犬歯のⅠ級関係」／ 4 「8020」達成者の口腔内が教えてくれること	
5 補綴に先立って必要とされる「歯の位置を変更する治療」	
3. 矯正治療以外でもできる「歯の位置の変更」	227
4. 「歯の位置を変更する補綴治療」の治療計画の立て方	230
1 治療計画／ 2 中高年の口元を大きく後退させた別症例 1／ 3 別症例 2	
5. 矯正的思考で「咬合高径の設定」をうまくならそう!	240
1 咬合高径を「矯正学的に」考えてみよう!	
6. 「歯の位置を変更する咬合再構成」の実際	242
1 「上顎中切歯審美障害に対し、過蓋咬合改善と矯正の挺出による歯肉形態改善を行った症例」	
2 「著しいⅡ級・ディープバイト症例に対し、矯正・インプラントを用いて行った咬合再構成」	

+αを知っておこう!

+α₀₁	歯列にスペースを生み出す，インプラントポジション	251
------------------------	--------------------------	-----

第6章 目からウロコの「LOTヒント集」

Question 1 : 翼状捻転の改善	256
Question 2 : 臼歯の遠心移動(片側)	257
Question 3 : 上顎第一大臼歯のアップライト	258
Question 4 : 埋伏している下顎第二大臼歯のアップライト	259
Question 5 : 異所萌出(第二大臼歯の鉗状咬合への対応)	260
Question 6 : 大臼歯の舌側傾斜への対応	261
Question 7 : 挺出した臼歯への対応	262
Question 8 : 臼歯近心傾斜への対応	263
Question 9 : 7番欠損に伴う8番の近心移動	264
Question 10 : 乳歯の骨性癒着による永久歯の萌出障害への対応	265
エピローグ この本を読まれた皆さんへ	266
索引	268